

第六回国際塾感想文

岡山県立岡山城東高校 3年

坂口 凜

今回の講義で私は初めてミュオグラフィというアートを知りました。サイエンスとアートを融合したものと聞いて、私自身理科系科目を解くのは苦手なのですが、分子の形などを見るのが好きなので、とても興味がわきました。さらに、プロジェクションマッピングもサイエンスとアートの融合と聞き、もっと興味がわきました。私自身、美術館に行くのが好きなので今回の話はとても楽しみにしていました。

具体例として今とても流行っている AR と VR、3D が出てきてとても分かりやすく、理解しやすかったです。それだけでなくアートの中でも油絵と融合しているのはとても驚きました。相対性理論の世界を抽象画で表現している絵はすごく油絵に見えたのが、パソコン上で描かれていると聞いて、またさらに驚きました。サイエンスとアートを融合させることによって、奥深い部分を知らなくても絵に対する興味がわきそれがサイエンスへの興味がわく理由となると聞き、ミュオグラフィはすごいなと思いました。

映像を見た後、難しい話が続きましたが、絵と一緒に見るとわかりやすくなり、聞きやすかったです。こういうところにもアートは影響しているのだなと思いました。ミュオグラフィの測定原理で桜島の噴火がいつ起こるかわかると宣言されていると聞き、ミュオグラフィのすごさに改めて気づきました。研究者の方が、噴火状況が分かるようになるかもしれませんという曖昧な予測ではなく、噴火状況が分かるようになるというように断言しているのはとてもすごいことだと思いました。私のいとこの家は鹿児島県にあってよく遊びに行っていたのですが、桜島が噴火したときに灰がたくさん降って来て毎回掃除を大変そうにしていたので、予測ができるようになると、掃除の時間が減るかもしれないと思いました。

プロの方のミュオグラフィアートはミュオグラフィというのを知らなかったら普通のアートにしか見えないくらい、とてもきれいだと思います。それに加えてサイエンスの意味も加えられることによってさらに素敵なものに見えました。学生さんのミュオグラフィアートもとてもきれいでしたが、プロの方と違ってサイエンスの意味が見えやすかったと感じました。ですが、プロの方のミュオグラフィアートと学生さんのミュオグラフィアートは違うように見えたのですが、どちらもすごく素敵で実際作品を見ることによって興味がさらにわきました。私は絵が下手なので、ミュオグラフィアートを素敵に描けることはとてもうらやましいと思いました。

素敵な絵とお話を聞くことができ、とても興味深かったです。